



2017年12月05日

各位

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
代表者 代表取締役会長兼社長 川崎博也
(コード番号 5406)
問合わせ先 秘書広報部長 楠山泰司
(TEL 03-5739-6010)

当社長府製造所における JIS 認証の一時停止について

当社及び当社グループ会社（当社グループ）における不適切行為に関しまして、お客様、お取引先様、株主様そのほか多数の皆様にご迷惑をお掛けしておりますこと、改めて深くお詫び申し上げます。

当社グループにおける不適切行為については、JIS の認証機関による審査を受けておりますが、品質管理体制等に問題があることから、本日、長府製造所アルミ押出工場の JIS 認証の一時停止の通知を受けました。

JIS 認証の一時停止により、長府製造所アルミ押出工場では、対象製品に JIS マークを表示し出荷することは出来ませんが、性能的には JIS 規格相当の製品をご提供させていただくことは可能であり、当該出荷製品の出荷先のお客様に対し、ご連絡及びご説明をさせて頂き、誠意をもって対応してまいります。

当社では、このたびの当社グループでの不適切行為に関しまして、2017年11月10日に「当社グループにおける不適切行為に係る原因究明と再発防止に関する報告書」を取り纏めて公表いたしました。アルミ・銅事業部門においては、2017年11月10日に事業部門直轄の部として各事業所及びグループ会社の品質管理、品質保証に係る監査機能及び教育・研修に関する役割を担う「品質保証部」を設置するとともに、長府製造所においては、同日付で品質管理機能と品質保証機能を明確に分離して「品質保証室」を事業所長直轄の独立した組織とし、品質管理チェック機能の強化に着手しております。また、改ざんやねつ造ができない検査プロセスとするため、試験検査データの記録の自動化を推進するとともに、自動取り込みのできない試験検査に関しては、試験検査業務での一人作業をなくし、必ず複数名で確認する仕組みを構築してまいります。今後、外部委員のみで構成する「外部調査委員会」の報告を踏まえて、諸施策の検討を進め、最終的な再発防止策に反映してまいります。

今回、JIS 認証の一時停止の原因となった品質管理体制の不備については、再発防止策を着実に実行することで問題を是正し、できるだけ早期に一時停止解除と信頼回復に努めてまいります。

本件による業績への影響は現時点で不明であり、今後、影響の程度が判明した時点でお知らせします。

○今回の処分内容：JIS マーク表示制度

- ・ 認証取得者：株式会社神戸製鋼所 長府製造所 アルミ押出工場
軽金属押出開発株式会社 (一部の工程を委託する工場:当社 29.2%出資の関連会社)
- ・ 認証機関：日本検査キューエイ株式会社 (JICQA)
- ・ 認証番号：QA0607023
- ・ JIS 番号及び名称：JIS H4040 アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線
JIS H4080 アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管
JIS H4100 アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材
- ・ 処分内容：JIS 認証の一時停止

<当社長府製造所アルミ押出工場の概要>

- ・ 所在地：山口県下関市長府港町 14-1
- ・ 事業内容：アルミニウム及びアルミニウム合金の押出品及び加工品の製造
- ・ 売上高：3,233 億円 (2016 年度：アルミ・銅セグメント)
…アルミ・銅セグメントの売上高に占めるアルミ押出工場の JIS マーク表示製品の割合は 1%
程度

(ご参考) これまでの処分内容：JIS マーク表示制度

- ・ 認証取得者：株式会社コベルコマテリアル銅管 秦野工場
- ・ 認証機関：一般財団法人日本品質保証機構 (JQA)
- ・ 認証番号：JQ0307066 (2017 年 10 月 26 日取り消し)
JQ0305001 (2017 年 11 月 15 日取り消し)
- ・ JIS 番号及び名称：JIS H3300 銅及び銅合金の継目無管 (2017 年 10 月 26 日取り消し)
JIS H3330 外面被覆銅管 (2017 年 11 月 15 日取り消し)

以 上